

## 第一回 自然について考える

## 考え方

① 段落で、「ごみはいったいどのように処理されているのでしょうか」と問い合わせたあと、続く②～⑤段落で、どのようにごみが処理されているのかを説明しています。ごみの処理についての具体的な説明は③段落と④段落にあります。そして、最後の⑥段落で筆者の意見を述べています。

このように、段落の構成をおさえると、文章の内容が理解しやすくなります。段落のはたらきをとらえる場合には、「まず」「つまり」などの段落の最初にある言葉に注目するとよいでしょう。

② 答え  
筆者の意見は最後の⑥段落で説明されています。つまり、⑥段落の「わたしたちは、大量にものを消費する今の暮らしを見つめ直し、ごみをへらしていかなければなりません。」という一文に、ごみ問題を解決するにはどうする必要があるのかについての筆者の意見が述べられているのです。

③ 答え  
わたしちは、大量にものを消費する今の暮らしを見つめ直し、ごみをへらしていかなければなりません。

## 答え

- ① ③ 段落と④ 段落

## 第二回 むずかしい言葉を使って文を書く

## 考え方

① 「持てあます」は、「だだをこねる子どもを持つてあます」のように使います。

② 「もどかしい」は、「登場人物の気持ちのすれ違いを見ているともどかしく感じられる」のように使います。

③ 「見るに見かねて」は、「見るに見かねて手をかした」など、困っている相手に手助けをする文脈で多く用いられます。

④ 「まぎれもない」は、「彼が事件の犯人なのは、まぎれもない事実だ」のように使います。

⑤ 「たらい回し」は、「だれも関わりたがらない問題をたらい回しにする」などの否定的な文脈で多く用いられます。

## 答え【例】

① 次のバスが来るまで一時間もあって、ひまを持てあます。  
② 昨日の夜に読んだばかりの本の題名が思い出せぬもどかしい。  
③ ぼくは、まいごの子どもが泣いているのを見るに見かねて助けてあげた。  
④ つくえの上にあるぼうしは、まぎれもなくわたしのものだ。  
⑤ 係の人に本のある場所をたずねたが、わかる人がいなくてたらい回しにされた。



## 第3回 生きるすがたについて考える

## 考え方

**1** 祖母の行動から、どのような人だったのかをとらえます。落ちこんでいる「わたし」にどう接したのかを読み取りましょう。  
——①の前に、「祖母はおやつにわたしの好物を出してくれた。言葉に出して『元気を出して』と言ってくれたわけではなかったけれど……」があるので、一つめの空欄には「言葉」が入るとわかるはずです。二つめの空欄には、最後の段落で「祖母は言葉では答えてくれない。でも、祖母がどう行動するか考えると、答えがおのずと見えてくるのだ」とあることから、「行動」が入るとわかります。

**2** 文章を通じて筆者が最も伝えたかったことは何かをとらえましょう。この文章に描かれているのは、主人公である「わたし」を通じて見た、祖母の考え方・生き方です。**1**で読み取ったことをふまえて考えると、この文章の主題は、**ウ**の「さまざまなことを教えてくれた祖母への思い」であると考えられます。

- 2** **1** 答え  
言葉／行動  
**ウ**

Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさ  
を体験しよう！

かっこいい小学生になろう



Z会の本

